

第1回

真実の歴史を学ぶ会

この度、鳥取県米子市にて「真実の歴史を学ぶ会」を立ち上げることとなりました。第一回の「学ぶ会」は、名門鳥取県立米子東高等学校出身で東洋史家としてお馴染みの宮脇淳子博士に「学校が教えない真実の中国史」のテーマで語っていただきます。中国の歴史というと学校で日本史を学ぶ過程で、孔子、孟子などの儒教、^{ぎしわしんてん}「魏志倭人伝」から仏教伝来、遣隋使といった日本と関連のあることがらを習ってきたという人が多いと思います。そういった勉強をすると、中国という国は四千年、五千年という歴史を誇る凄い国といったイメージで捉えられます。しかし、現代においては、南京事件、文化大革命、共産主義、尖閣諸島、南沙諸島問題、米中経済戦争など日本人からみると決して良いイメージだけではありません。そこでこの度の宮脇淳子博士による「真実の歴史を学ぶ会」を通じて、温故知新、現代は歴史の所産である故にその真実の歴史を知ることにより、避けて通れない中国という隣人とどのように向き合うのかが見えてくるかも知れません。

- 日 時** 2019年3月21日(木) 春分の日
受付午後2時30分～ 開会午後3時～午後5時30分(質疑応答時間を含む)
- 場 所** 米子ふれあいの里 4F 中会議室①、②
鳥取県米子市錦町1丁目139番地
電話 0859-23-5491
- テーマ** 「学校が教えない真実の中国史」
- 講 師** 宮脇淳子博士(東洋史家・「昭和12年学会」会長)
- 参加費** 2,000円
- 主 催** 真実の歴史を学ぶ会
鳥取県米子市西福原5丁目2-23
事務局：松永純宗
連絡先：090-8241-7571



宮脇淳子氏プロフィール

1952年和歌山県生まれ。米子東高等学校、京都大学文学部卒業。大阪大学大学院博士課程修了。学術博士。専攻は東洋史。大学院在学中から、岡田英弘(東京外国語大学名誉教授)からモンゴル語・満洲語・中国史を、山口瑞鳳(東京大学名誉教授)からチベット語・チベット史を学ぶ。東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究員、東京外国語大学、常磐大学、国士舘大学、東京大学などの非常勤講師を歴任。最近は、ケーブルテレビ、インターネット動画でモンゴル史、中国史、韓国史、日本近現代史の講義をしている。

著書に『モンゴルの歴史』(刀水書房)『清朝とは何か』(藤原書店・共著)『世界史のなかの満洲帝国と日本』(ワック)『真実の中国史[1840-1949]』(PHP文庫)『日本人が知らない満洲国の真実』(扶桑社新書)『韓流時代劇と朝鮮史の真実』(扶桑社新書)『残念すぎる朝鮮1300年史』(祥伝社新書・共著)『かわいそうな歴史の国の中国人』(徳間書店)『悲しい歴史の国の韓国人』(徳間書店)『封印された中国近現代史』(ビジネス社)『日本人が教えない新しい世界史』(徳間書店)『どの教科書にも書かれていない日本人のための世界史』(KADOKAWA)『満洲国から見た近現代史の真実』(徳間書店)など多数の著書がある。

岡田宮脇研究室 <https://okamiya.sakura.ne.jp/index.html>